

は し が き

有機農業に取り組む生産者の増加、有機農地拡大のためには、有機農産物の受け手となる消費者の有機農産物の消費拡大が求められている。そのためには、有機農産物を入手しやすい仕組みを構築する必要がある。今日、有機農産物は多様な流通形態により流通しているが、本会が実施した昨年度の『有機農業に対する消費者の意識と理解促進に関する調査報告』で、スーパーマーケットが有機農産物の購入場所として最も多く使われていることが明らかになった。スーパーマーケットの有機農産物流通の実態・有機農産物に対する意識を明らかにすれば、有機農産物流通の課題が見えてくるであろう。

そこで、本年度は、消費者が最も頻繁に農産物を購入しているスーパーマーケットを中心に、自然食品店、道の駅について、有機農産物の流通実態および有機農産物に対する意識についての調査を行った。

なお、本調査報告は、平成23年度農林水産省生産環境総合対策事業・有機農業総合支援事業のうち「有機農業調査事業」に関する支援を得て本会が実施した上述の調査をとりまとめたものである。

本調査にご協力いただいた多くの皆様にこの場を借りて感謝申し上げますと共に、本報告書が関係者各位のご参考になることを願っている。

2012年3月

特定非営利活動法人 日本有機農業研究会
理事長 佐藤 喜作

調査研究体制

協議会委員

- | | |
|--------|-----------------------|
| 今井 優子 | 有機農業推進協会認証部長 |
| ○ 大木 茂 | 麻布大学獣医学部教授 |
| 久保田裕子 | 國學院大學経済学部教授 |
| 関 信雄 | 株式会社バイオ・マーケット代表取締役 |
| 本城 昇 | 埼玉大学経済学部教授 |
| 吉野 馨子 | 法政大学サステナビリティ研究教育機構准教授 |
| 涌井 義郎 | 鯉淵学園農業栄養専門学校教授 |
- (○印 実需者調査委員長)

事務局

- | | |
|-------|-----------------------|
| 小出すま子 | 日本有機農業研究会 事務局長・調査事業代表 |
| 平 良子 | 同 事務局 |
| 上杉 幸康 | 同 事務局 |

執筆分担

- | | |
|-------|-------|
| 第1・2章 | 大木 茂 |
| 第3章 | 涌井 義郎 |
| 第4章 | 久保田裕子 |